

～「親世代の資産に関する意識調査」～

財産は“自分のために”使い切りたい！？

～ 親も子も約7割が親の財産は親自身のために使い切るべきと考えている～

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO ロバート・エム・ベラーディ)は、60代の親世代500名と30代～40代の子世代500名を対象に、『親世代の資産に関する意識調査』(インターネット調査)を実施しました。

調査の結果、親世代の7割以上が「自分たちの財産は子供に残さず、自分自身で使いたい。その代わり、老後のことは子どもに頼らず、自分自身で解決する」と回答。また、子世代の7割近くも「親の財産は親自身に自由に使ってもらい、老後のことは親自身で解決してほしい」と回答しました。

本調査では、親・子世代ともに、「親の老後は、親が自分の財産を活用し、親自身で解決すべき」と同じ考えであることが分かりました。しかしながら、総務省のデータ*では、親世代(65歳以上)の所有資産の半分近くは、自宅住居などの不動産であるという結果がでています。親の資産である不動産を、子に残さず自分で使い切りたいと考えていても、現在居住している自宅を売却し、現金化することは難しいのが現状です。

東京スター銀行では、固定資産である不動産を現金化し、生活費等に活用する方法として、不動産の評価額に見合った額をご融資する、新型リバースモーゲージ「充実人生」をご用意しています。

新型リバースモーゲージ「充実人生」の主な特徴：

- ご自宅に住み続けながら、自己名義の不動産を現金化することが可能。
- お借入れ資金の使用用途は自由。
- ご契約者がお亡くなりになられた後も、配偶者が契約を引き継ぐことができます。

親世代のリバースモーゲージに対する認知率は52.8%と、5年前の当行調査と比較して10%も高まりました。また、過半数(52.4%)に利用意向があることも分かりました。海外ではリバースモーゲージの利用は一般的ですが、日本では「土地は代々相続するもの」という考え方があり、利用は広がらないと言われていました。ただ、本調査結果からみると、「親の財産は親自身で使い、親の老後は親自身で解決する」という考え方が一般的な時代になりつつあるのかもしれない。

* 総務省 平成16年全国消費実態調査(世帯主の年齢階級別1世帯当たり資産額 全世帯・勤労者世帯)

コラム:『財産は“自分のために”使い切りたい!?!』

http://www.tokyostarbank.co.jp/education/reverse_mortgage/index.php

東京スター銀行の新型リバースモーゲージ「充実人生」詳細

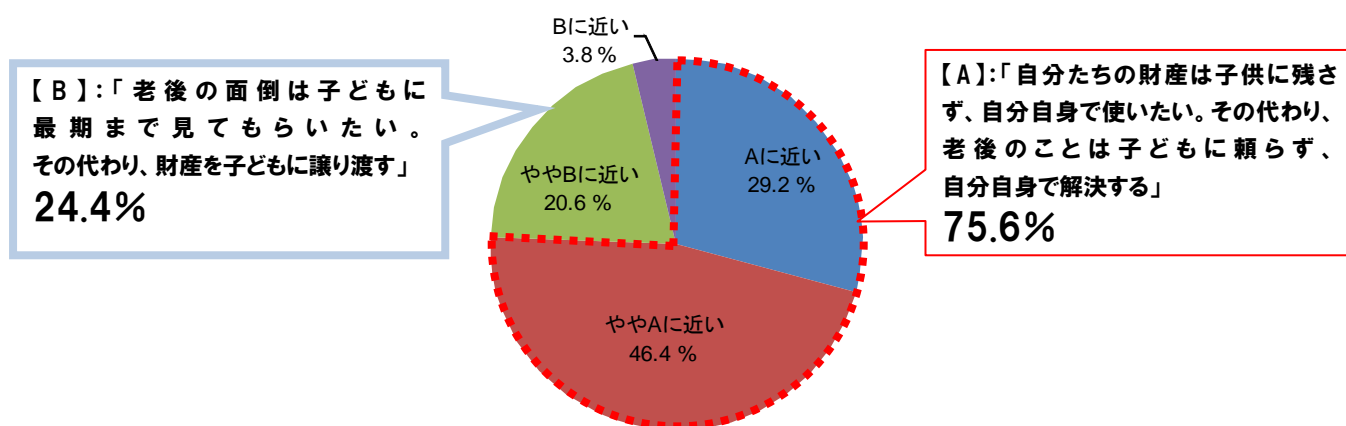
http://www.tokyostarbank.co.jp/products/loan/homeloan_jyujitsu/index.php

調査結果概要

①親世代

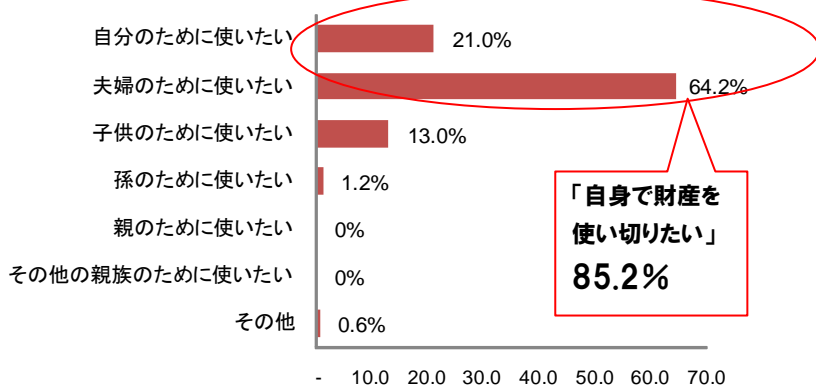
「自分たちの財産は子供に残さず、自分自身で使いたい。
その代わりに、老後のことは子どもに頼らず自分自身で解決する」 75.6%

親世代に、【A】:「自分たちの財産は子供に残さず、自分自身で使いたい。その代わりに、老後のことは子どもに頼らず、自分自身で解決する」または、【B】:「老後の面倒は子どもに最期まで見てもらいたい。その代わりに、財産を子どもに譲り渡す」のどちらが自分の考えに当てはまるかを調査したところ、75.6%の人が【A】を選びました。【B】を選んだのは24.4%でした。

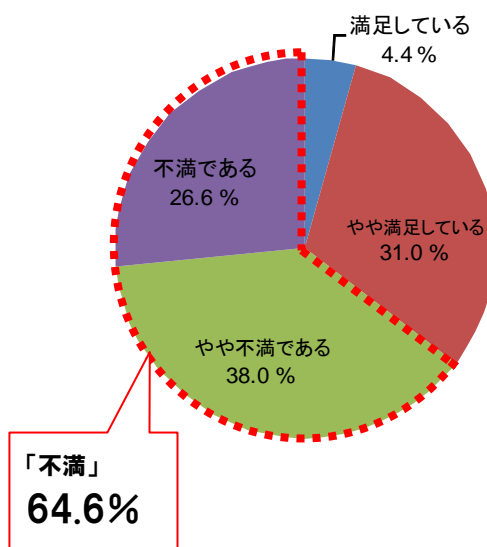


また、親世代の9割近くが「自身で財産を使い切りたい」としています。

現在の蓄財・資産を誰のために使いたいか



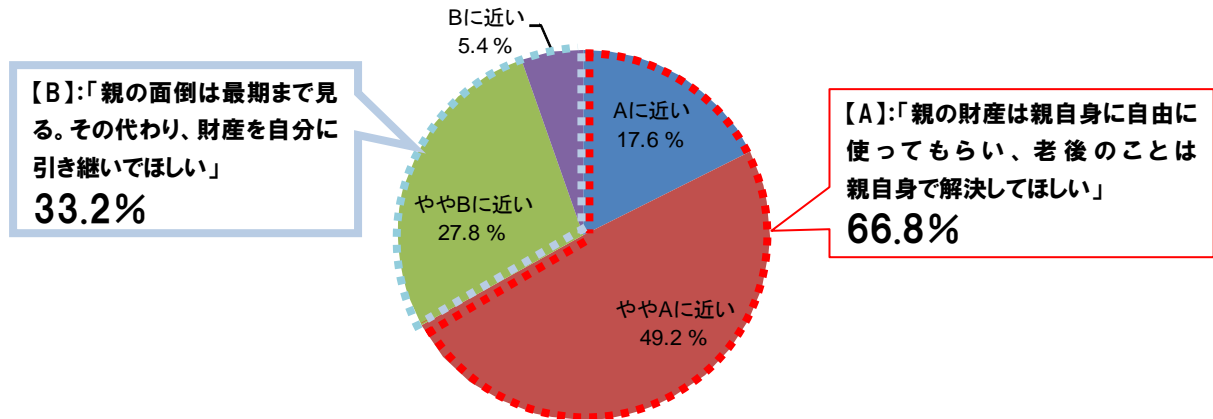
リタイア後の人生において、現在の財産にどの程度満足しているか



②子世代

「親の財産は親自身に自由に使ってもらい、老後のことは親自身で解決してほしい」 66.8%

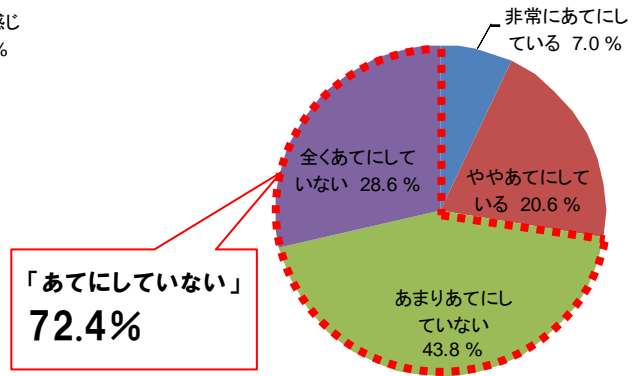
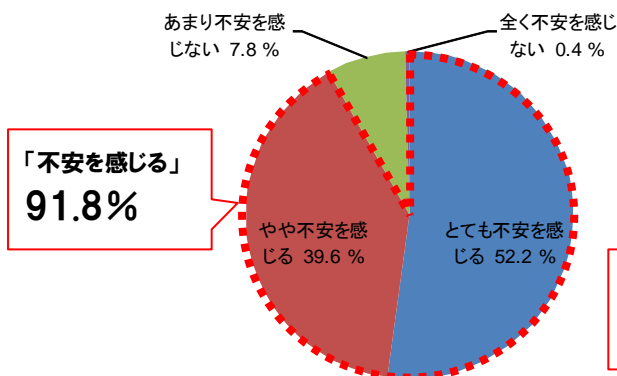
子世代に、【A】:「親の財産は親自身に自由に使ってもらい、老後のことは親自身で解決してほしい」または、【B】:「親の面倒は最期まで見る。その代わりに、財産を自分に引き継いでほしい」のどちらが自分の考えに当てはまるかを調査したところ、【A】を選んだのは、66.8%、【B】を選んだのは33.2%でした。



また、子世代の9割以上が、将来の金銭的な不安を抱えながらも、7割以上は親の資産や持ち家をあてにしています。親の持ち家の相続についても、6割近くが「特にこだわらない」と回答しており、親の持ち家に対する思い入れはあまり強くないようです。

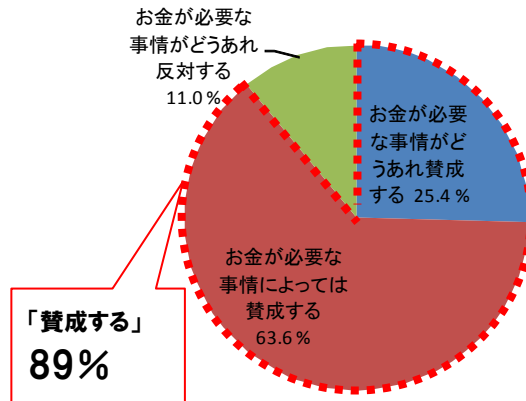
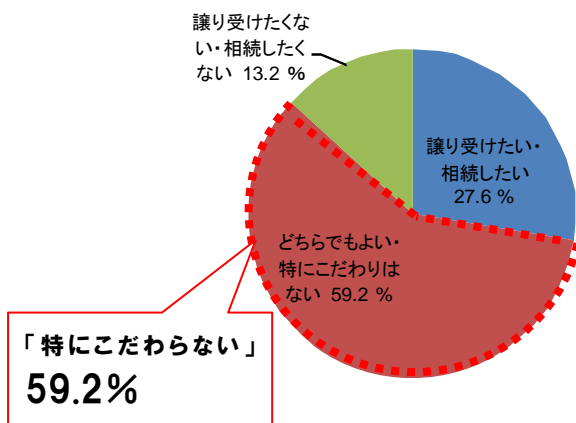
将来に対する金銭面での不安を感じるか

親の財産や資産をあてにしているかどうか



親の持ち家を相続したいか

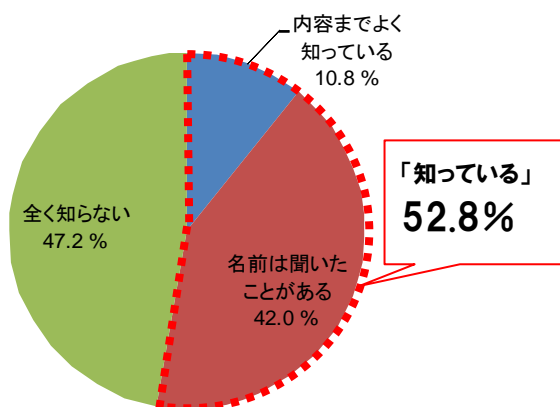
親から自宅を売却したいと相談された場合どうするか



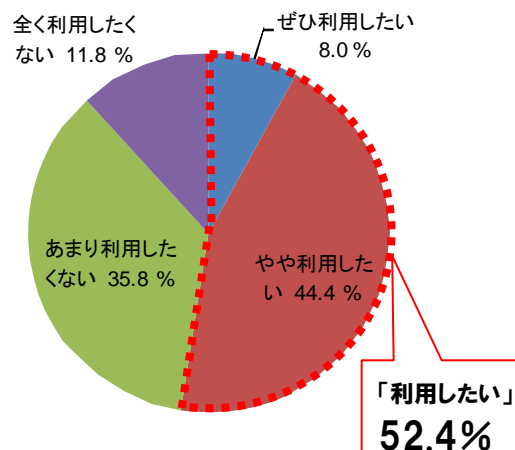
③ 親世代のリバースモーゲージに対する認知率と利用意向

持ち家の所有権を手放さずに、担保にすることで銀行からその評価額に見合った現金融資を受ける金融商品「リバースモーゲージ」について調査したところ、親世代の過半数(52.8%)がリバースモーゲージを「知っている」と回答。また、「リバースモーゲージ」の説明後に、親世代に利用意向を聞いたところ、過半数(52.4%)に利用意向があることが分かりました。不動産を現金化できるひとつの方法として、認知度が高まっているようです。

リバースモーゲージの認知率



リバースモーゲージの利用意向



調査概要

- 調査手法: インターネット調査
- 調査期間: 2010年8月27日～28日
- 調査主体: (株)東京スター銀行
- 調査会社: (株)ゲイン
- 調査対象: 【子世代】
自身が30～49歳 かつ 親が60～69歳 かつ 親がマンションまたは一戸建てを保有
- 【親世代】
自身が60～69歳 かつ 子供が30～49歳 かつ 自身または配偶者名義で、一戸建てまたはマンションを保有
- サンプル数: 1,000人(子世代: 500人、親世代: 500人)

東京スター銀行の新型リバースモーゲージ「充実人生」

(http://www.tokyostarbank.co.jp/products/loan/homeloan_jyujitsu/index.php)

日本で初めて高齢者を対象としたローン、新型リバースモーゲージ「充実人生」が、2010年9月で販売5周年を迎えます。

お客さまはご自宅を手離すことなく、自己名義の不動産を担保にご融資を受けることができます。従来、一戸建てのみが対象でしたが、お客さまのご要望にお応えし、2010年8月より首都圏限定でマンションも対象といたしました。

東京スター銀行は今後も、お客さまの声を積極的に取り入れた商品をご提供してまいります。